



# 「歯科技工業の多様な 業務モデルに関する研究」 概要

広島大学大学院医歯薬保健学研究科  
口腔健康科学講座口腔生物工学研究室  
田地 豪

# 研究組織

厚生労働科学研究費補助金  
地域医療基盤開発推進研究事業

「歯科技工業の多様な業務モデルに関する研究」

(H29-医療-一般-002)

- |       |                        |
|-------|------------------------|
| 研究代表者 | 赤川安正 (昭和大学・客員教授)       |
| 研究分担者 | 佐藤裕二 (昭和大学・教授)         |
|       | 田地 豪 (広島大学・准教授)        |
|       | 小畑 真 (北海道医療大学・客員教授)    |
|       | 堀口逸子 (東京理科大学・教授)       |
|       | 下平 修 (昭和大学・講師)         |
| 研究協力者 | 三井博晶 (日本歯科医師会・常務理事)    |
|       | 清水潤一 (日本歯科技工士会・常務理事)   |
|       | 尾崎順男 (全国歯科技工士教育協議会・会長) |
|       | 南部哲男 (日本歯科技工所協会・副理事長)  |

# 目的



歯科技工士を取り巻く労働環境は厳しさを増しており、加えて、歯科技工士の高齢化や歯科技工士学校養成所の定員割れが続いて若手歯科技工士の参入が乏しくなり、将来的に歯科技工業の担い手である歯科技工士の不足が予測されている。

このような問題を解決するためには、歯科技工業の労働実態を正確に把握し、その労働環境を構成する要素ごとに論点を整理し、労働環境の改善を図ることが急務であると考えます。

本研究の目的は、歯科技工業の実態を正確に把握して、労働環境等の改善に資する提言や多様な業務モデルを導入するためのマニュアルを作成することにある。

# 対象および方法

## 【対象】

- ・ 歯科技工所（管理者） ※ 4009 施設
- ・ 歯科医療機関 ※※ 750 施設
- ・ 歯科技工士（歯科技工所勤務） ※※※ 4009 名
- ・ 歯科技工士（歯科医療機関勤務） ※※※ 750 名

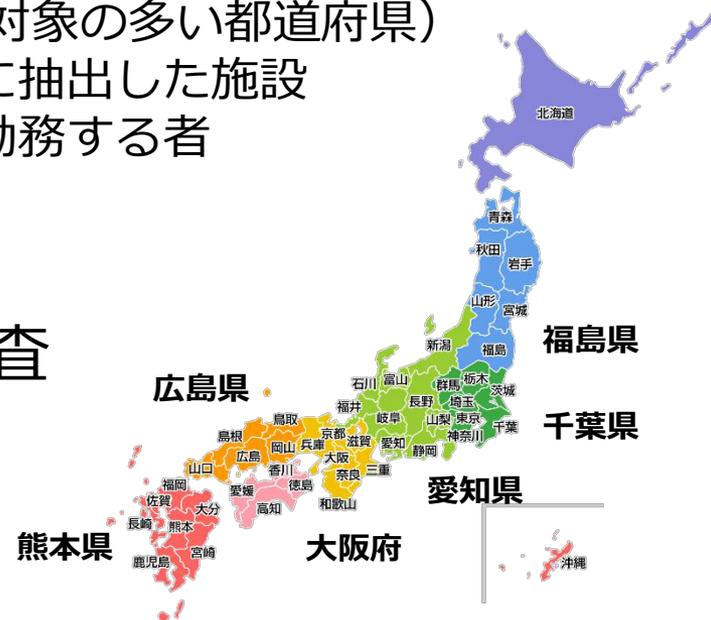
※ 自治体のホームページに公開されている歯科技工所  
（全国を6ブロックに分け、各ブロックで対象の多い都道府県）

※※ 日本歯科医師会の会員の中から無作為に抽出した施設

※※※ 対象の歯科技工所や歯科医療機関に勤務する者

## 【方法】

- ・ アンケート形式による往復郵送調査  
（平成29年12月）



# 質問票（歯科技工所）

平成 29 年度厚生労働科学研究  
「歯科技工業の多様な業務モデルに関する研究」  
【歯科技工所（管理者）用】

## 【調査項目】

この調査は、平成 29 年度厚生労働科学研究「歯科技工業の多様な業務モデルに関する研究」の一環で行われるもので、歯科技工士の労働実態等を把握・分析することで、歯科技工業の効率化や歯科技工士の労働環境の改善につながる提言等を行うことを目的としています。この調査は無記名で個人が特定されることはありません。調査目的以外には使用いたしません。趣旨をご理解のうえ調査にご協力いただきますようお願いいたします。

## 所在地

←この調査に同意していただける場合はチェックをお願いいたします。

Q1. 所在する都道府県（○印は1つ）

1. 北海道・東北 2. 関東・甲信越 3. 東海・北陸 4. 近畿 5. 中国・四国 6. 九州

Q2-1. 開業年数（整数を記入） ( ) 年

Q2-2. 前年（平成 28 年）の売上高（税込） ( ) 万円

Q2-3. 直近 3 年間で売り上げ状況（いずれかに○） 1. 変化なし 2. 増加傾向 3. 減少傾向

Q3-1. 現在の職員数と直近 3 年間での変化（カッコ内に記入し、増減はいずれかに○）

	a: 人数	b: 直近 3 年間での変化	c: 増減数
1 総職員数（管理者・パート職員を含む）	( ) 名	1. 変化なし 2. 増加 3. 減少	( ) 名
2 男性歯科技工士数	( ) 名	1. 変化なし 2. 増加 3. 減少	( ) 名
3 女性歯科技工士数	( ) 名	1. 変化なし 2. 増加 3. 減少	( ) 名
4 うち、パート歯科技工士数	( ) 名	1. 変化なし 2. 増加 3. 減少	( ) 名

## 就労時間

Q3-2. 直近 3 年間で歯科技工士（パートを含む）を新規に採用しましたか 1. はい 2. いいえ

Q3-3. 新規に採用しなかった場合の理由（当てはまるすべてに○）

1. 人員や業務に変化がなかった 2. 業務量が減った  
3. 業務の縮小を図った 4. 募集しても来ない  
5. 業務の効率化を図った 6. その他 ( )

Q4-1. 貴所の 1 日平均営業時間（半日営業の日を除く、例：10 時間） ( ) 時間

Q4-2. あなたの 1 日平均就労時間（半日営業の日を除く、休憩を除く、例：7 時間） ( ) 時間

Q4-3. 貴所の 1 カ月間の休業日数（半日は 0.5 として記入） ( ) 日

Q5-1. 貴所では入社時に従業員との間で書面にて雇用契約を結んでいますか（いずれかに○）

1. 家族以外の従業員がいなくても必要 2. 結んでいる  
3. 結んでいない

Q5-2. 就業規則を作成していますか（いずれかに○）

1. 作成していない  
2. 作成しているが、労働基準監督署に届けていない  
3. 作成していて、労働基準監督署に届けている

Q6-1. 労働環境改善への取り組みの内容（当てはまるすべてに○）

1. 作業環境の不具合がないようにする 2. 従業員の意見を積極的に取り入れる  
3. 作業環境に関する新しい情報を入手する 4. 生涯学習を支援する  
5. その他 ( )

Q6-2. 歯科技工業務の効率化への取り組みの内容（当てはまるすべてに○）

1. 補てつ物等の種類に応じて担当制としている  
2. 特定の補てつ物等のみの受注を行っている  
3. ひとつの補てつ物等を作業工程ごとに分担している  
4. 歯科技工業務を行う者とそれ以外の業務（営業や梱包等）の者を分けている  
5. 新しい機器を導入している  
6. その他 ( )

Q7. 補てつ物等における、業務形態、1 カ月の製作個数、直近 3 年間の製作個数の変化（当てはまるものは○に、業務形態、製作個数、変化はいずれかに○）

	a 業務形態 全患者を 1 人で担当 患者毎に分担 作業工程毎に分担 その他	b 製作個数（1 カ月） *歯科医療機関は「歯数」でカウント *例：3 ユニットブリッジは「3」				c 製作個数の変化（3 年間）		
		1 から 9	10 から 49	50 から 99	100 以上	変化なし	増加傾向	減少傾向
1. クラウンブリッジ	1. 保険分 <input type="checkbox"/> 2. 自費分 <input type="checkbox"/>	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	
2. CAD/CAM 冠	1. 保険分 <input type="checkbox"/> 2. 自費分 <input type="checkbox"/>	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	
3. 有床義歯	1. 保険分 <input type="checkbox"/> 2. 自費分 <input type="checkbox"/>	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	
4. インプラント上部構造	<input type="checkbox"/>	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	
5. 矯正装置	<input type="checkbox"/>	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	

※具体的な業務形態（ )

Q8-1. 貴所は歯科医療機関数 ( ) 箇所

Q8-2. 貴所は歯科医療機関との取引中止がありますか 1. ある 2. ない

Q8-3. (Q7-2 で「ある」の場合) そのトラブルはどれですか（当てはまるすべてに○）

1. 納期 2. 品質 3. 納期 4. 補てつ物等に関する考え方の相違  
5. その他 ( )

Q9-1. 補てつ物等の製作委託に関して歯科医療機関と契約書を取り交わしていますか 1. はい 2. いいえ

Q9-2. (Q8-1 で「はい」の場合) 契約項目はどれですか（当てはまるすべてに○）

1. 業務内容（加工工程など） 2. 契約期間  
3. 支払条件 4. 報酬支払時期  
5. 支払回数・費用負担 6. 契約解除条件

Q10. 自由意見をお書き下さい

## 雇用契約、

## 労働環境、

## 業務形態、

## 受託歯科医療機関

## 就業規則

## 効率化

## 製作個数

## 売上高

(裏面に続く)

ご協力ありがとうございました。

# 質問票（歯科医療機関）

平成 29 年度厚生労働科学研究  
「歯科技工業の多様な業務モデルに関する研究」  
【歯科医療機関（管理者）用】

## 【調査項目】

この調査は、平成 29 年度厚生労働科学研究「歯科技工業の多様な業務モデルに関する研究」の一環で行われるもので、歯科技工士の労働実態等を把握・分析することで、歯科技工業の効率化や歯科技工士の労働環境の改善につながる提言等を行うことを目的としています。この調査は無記名で個人が特定されることなく、院内内では調査目的以外には使用いたしません。趣旨をご理解のうえ調査にご協力いただき、ありがとうございます。

←この調査に同意していただける場合はチェックをお願いいたします。

Q1. 所在する都道府県（○印は1つ）

1. 北海道・東北 2. 関東・甲信越 3. 東海・北陸 4. 近畿 5. 中国・四国

Q2. 開業年数 ( ) 年

Q3. 1日平均患者数 ( ) 人

Q4. 全患者に対する補てつ物等を製作する患者の割合（10%単位で記入） ( ) %

Q5. 職員数（パートを含む）

1. 総職員数 ( ) 名	2. 歯科医師数 ( ) 名	3. 歯科技工士数 ( ) 名
------------------	-------------------	--------------------

Q6-1. 補てつ物等の製作場所（いずれかに○）

1. すべてを歯科技工所に委託 → Q6-2以降へ  
2. 大部分を歯科技工所に委託、一部は院内 → Q6-2以降へ  
3. 一部を歯科技工所に委託、大部分は院内 → Q6-2以降へ  
4. すべてを院内で製作 → Q8-1へ

Q6-2. 製作を委託している歯科技工所数

( ) 箇所

Q6-3. 1種類の補てつ物等を複数の歯科技工所に委託するケース（種類）

1. ない 2. ある（種類： )

Q6-4. 補てつ物等の製作を委託した際のトラブル（いずれかに○、「1」を回答した場合は具体的に記入）

1. ない・ほとんどない  
2. ある（具体例： )

Q7-1. 補てつ物等の製作委託に関して歯科技工所と契約書を取り交わしていますか

1. はい 2. いいえ

Q7-2. (Q7-1で「はい」の場合) 契約項目はどれですか（当てはまるすべてに○）

1. 契約内容（補てつ物等の種類・量など）	2. 契約期間
3. 報酬金額	4. 報酬支払時期
5. 再製作時の費用負担	6. 契約解除条件

（裏面に続く）

以下に、国外での補てつ物等の製作（以下「海外技工」という）の委託についてお聞きます

Q8-1. 海外技工に関する下記の通知について（各項目で○印は1つ）

	知っているが 内容の把握なし 知っており 内容も把握	知らない
1. 国外で作成された補てつ物等の取り扱いについて（平成 17 年 9 月 8 日付け課長通知）	1	2 3
2. 補てつ物等の作成を国外に委託する場合の使用材料の指示等について（平成 22 年 3 月 31 日付け課長通知）	1	2 3
3. 歯科医療における補てつ物等のトレーサビリティに関する指針について（平成 23 年 6 月 28 日付け局長通知）	1	2 3

Q8-2. 海外技工の発注経験（いずれかに○）

1. ある（現在も発注している） → Q8-3以降へ  
2. ある（現在は発注していない） → Q8-3以降へ  
3. ない → Q9へ  
4. かつては発注していたが把握していない → Q9へ

Q8-3. 海外技工の発注開始時期（いずれかに○）

1. 平成 28 年 2. 平成 27 年 3. 平成 26 年 4. 平成 25 年 5. 平成 24 年  
6. 平成 23 年 7. 平成 22 年 8. 平成 21 年 9. 平成 20 年 10. 平成 19 年  
11. 平成 18 年より前（平成 年から）

Q8-4. 海外技工の発注する補てつ物の種類（当てはまるすべてに○）

1. 固定義歯 2. 有床義歯 3. インプラント上部構造  
4. 矯正装置 5. CAD/CAM による補てつ物 6. その他 ( )

Q8-5. 海外技工の発注先（当てはまるすべてに○）

1. 中国 2. 韓国 3. その他のアジア諸国  
4. アメリカ 5. EU 諸国 6. 発注国を把握していない  
7. その他 ( )

Q8-6. 外注技工に占める海外技工の割合（○印は1つ）

1. 10%未満 2. 10%～20%未満 3. 20%～30%未満 4. 30%～40%未満 5. 40%～50%未満 6. 50%～60%未満 7. 60%～70%未満 8. 70%～80%未満 9. 80%～90%未満 10. 90%～100%未満 11. 5%～10%未満 12. 10%～20%未満 13. それ以上 ( ) %

Q8-7. 海外技工の発注先（○印は1つ）

1. 精度が高い 2. 価格が安い 3. 安全性が高い  
4. 国内で製作する技術・材料がない 5. 発注から納品までの時間が早い  
6. 保証期間が長い 7. 費用対効果が高い 8. 取引先の歯科技工所の勧め

Q8-8. 海外技工の発注先との契約（○印は1つ）

1. 補てつ物の種類・量など 2. 契約期間 3. 報酬金額 4. 報酬支払時期 5. 再製作時の費用負担 6. 契約解除条件

Q9. 自由意見をお書き下さい（特に歯科技工に関して）

ご協力ありがとうございました。

# 質問票（歯科技工士）

平成 29 年度厚生労働科学研究  
「歯科技工業の多様な業務モデルに関する研究」  
【歯科技工士用】【フルタイム勤務者用】

## 【調査項目】

この調査は、平成 29 年度厚生労働科学研究「歯科技工業の多様な業務モデルに関する研究」の一環で行われるもので、歯科技工士の労働実態等を把握・分析することで、歯科技工業の効率化や歯科技工士の労働環境の改善につながる提言等を行うことを目的としています。この調査は無記名で個人が特定されることはありません。調査目的以外には使用いたしません。趣旨をご理解のうえ調査にご協力いただきますようお願いいたします。

←この調査に同意していただける場合はチェックをお願いします。

Q1. 勤務する都道府県（○印は1つ）

1. 北海道・東北 2. 関東・甲信越 3. 東海・北陸 4. 近畿 5. 中国・四国 6. 九州

Q2. 性別（数字に○）

1. 男性 2. 女性

Q3. 年齢（整数を記入）

( ) 歳

Q4. 現在の就業先（○印は1つ）

1. 歯科技工所（管理者） 2. 歯科技工所（勤務者） 3. 歯科診療所（企業内診療所も含む）  
4. 病院

Q5. 歯科技工士としての就業年数（パート・アルバイトを含む）

総計：( ) 年

現在就業している場所での年数：( ) 年

現在就業している場所：( ) 力所目

Q6. 補てつ物等を製作している方のみ回答下さい

Q6-1. 補てつ物等における、業務形態、1カ月の製作個数、直近3年間の製作個数の変化（当てはまるものは○に、業務形態、製作個数、変化はいずれかに○）

		a 業務形態				b 製作個数（1カ月）				c 製作個数の変化（3年間）			
		全患者を1人で担当	患者毎に分担	作業工程毎に分担	その他	1から4	5から9	10から29	30以上	増加	減少	変化なし	不明
1. クラウンブリッジ	1. 保険分 <input type="checkbox"/>	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
	2. 自費分 <input type="checkbox"/>	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
2. CAD/CAM 冠	1. 保険分 <input type="checkbox"/>	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
	2. 自費分 <input type="checkbox"/>	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 有床義歯	1. 保険分 <input type="checkbox"/>	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
	2. 自費分 <input type="checkbox"/>	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
4. インプラント上部構造	<input type="checkbox"/>	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 矯正装置	<input type="checkbox"/>	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4

※具体的な業務形態（

）（裏面に続く）

Q6-2. 製作している補てつ物等の自費の割合 ( ) 割

Q7-1. あなたの歯科技工士としての前年（平成 28 年）の年収 ( ) 万円

Q7-2. あなたの歯科技工士としての年収の直近3年間の変化（いずれかに○）

1. 変化なし 2. 増加傾向 3. 減少傾向

Q8-1. あなたの1日平均就労時間（半日営業の日を除く、休を除く、例：7.5 時間）

( ) 時間、そのうち残業：( ) 時間

Q8-2. あなたの1日平均就労時間の直近3年間の変化（いずれかに○）

1. 変化なし 2. 増加傾向 3. 減少傾向

Q8-3. あなたの1カ月の残業時間（いずれかに○）

1. ほとんどない 2. 45 時間未満 3. 45 時間以上 4. 80 時間以上 5. 100 時間以上

Q9. あなたの歯科技工士としての就業年数によって持っている意識をお聞きます（いずれかに○）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1. 私は今の仕事に興味をもっている	1	2	3	4
2. 私は仕事を通じて全体として成長した	1	2	3	4
3. 私は歯科技工所や歯科診療所に勤めていたり開業していることを誇らしく思う	1	2	3	4
4. 今の仕事は私に適している	1	2	3	4
5. 社会の人々は、私の仕事を尊敬するに値する仕事だと思っている	1	2	3	4
6. 私の仕事は「やり甲斐のある仕事をした」というかんじが得られる	1	2	3	4
7. 私は同僚や受託している歯科医療機関のみんなに認められている	1	2	3	4
8. 私の仕事は誇りに思われる	1	2	3	4

Q10. あなたの就業先で利用する歯科技工に関する学習手段（当てはまるすべてに○）

1. 歯科技工士会等の生涯研修事業 2. 各種学会の学術大会 3. スタッグループ  
4. メーカー主催の研修会 5. 専門誌 6. 卒後研修事業  
7. その他 ( )

Q11. 自由意見をお書き下さい（改善してもらいたいことを含めて）

ご協力ありがとうございました。

# 研究の概要

## 歯科技工業の多様な業務モデルに関する研究

### 歯科技工業における課題

- ・労働環境の厳しさ
  - ・歯科技工士の高齢化
  - ・養成校の定員割れ
  - ・若手技工士の参入減少
- 歯科技工業の担い手である歯科技工士の不足

### 過去の調査研究の問題点

- ・調査対象が限定的
  - ・委託契約の実態が不明
  - ・雇用契約の実態が不明
  - ・特定の技工内容に偏重
- 業務形態と労働環境との関係や契約の実態が不明

歯科技工業の現状把握の必要性

### 質問票による調査

#### 【特徴】

- ・可及的に歯科技工所全体の意見を集計(自治体のHPに公開されている歯科技工所を対象とし、全国を6ブロックに分け、各ブロックで対象の多い都道府県を1つ選択)
- ・全国の歯科医療機関も対象
- ・委託・受託契約に関しても調査

#### 【内容】 ※詳細は次ページ

対象:  
歯科技工所  
(約4,000施設)



- ・所在地
- ・開業年数、売上高
- ・職員採用
- ・就労時間
- ・雇用契約、就業規則
- ・労働環境、効率化
- ・業務形態、製作個数
- ・受託歯科医療機関
- ・自由意見

対象:  
歯科技工士  
(約4,000名)



- ・勤務地
- ・年齢、性別
- ・就業先、就業年数
- ・業務形態、製作個数
- ・年収
- ・就労時間、残業時間
- ・職務内容への意識
- ・学習手段
- ・自由意見

対象:  
歯科医療機関  
(約750施設)



- ・所在地
- ・開業年数
- ・1日平均患者数
- ・補てつ患者の割合
- ・職員数
- ・補てつ物の製作場所
- ・歯科技工所との契約
- ・海外技工
- ・自由意見

データ集計・分析

提言・マニュアルの作成

関係者や関連学会で公表・周知

# 結果

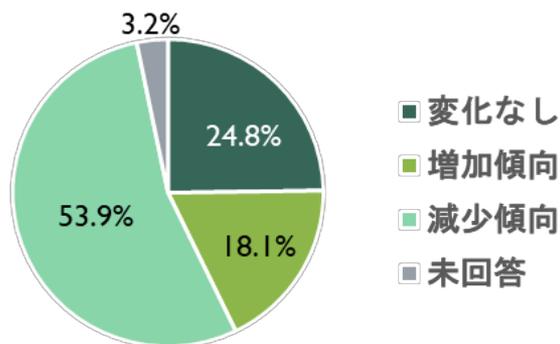


## 【質問票の回収数（回収率）】

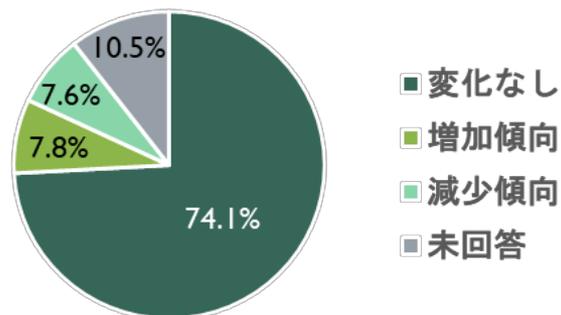
- ・ 歯科技工所 429 通（10.7 %）
- ・ 歯科医療機関 576 通（76.8 %）
- ・ 歯科技工士（歯科技工所勤務） 319 通（ 7.9 %）
- ・ 歯科技工士（歯科医療機関勤務） 167 通（22.3 %）

# 結果（歯科技工所からの回答）

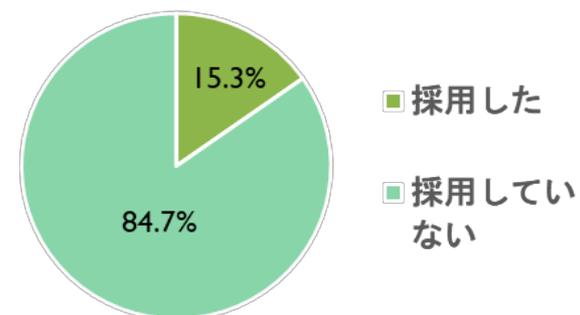
直近3年間の売り上げ状況



直近3年間の職員数の変化



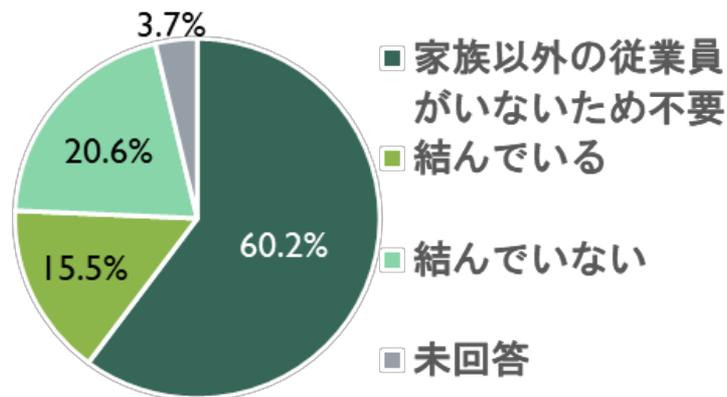
直近3年間の歯科技工士の採用



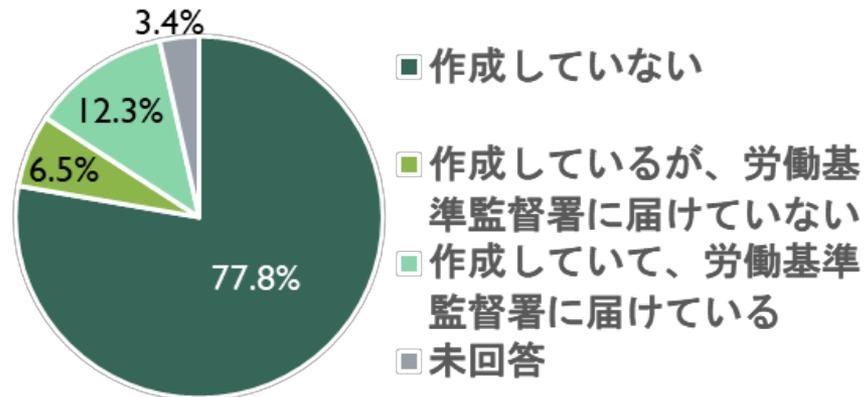
- 売り上げ状況：「減少傾向」が最も多い(53.9%)。次いで「変化なし」(24.8%)
- 職員数の変化：「変化なし」が最も多い(74.1%)。
- 歯科技工士の採用：「採用した」は15.3%

# 結果（歯科技工所からの回答）

## 雇用契約の締結



## 就業規則の作成



- 雇用契約の締結：「家族以外の従業員がいないため不要」が最も多い(60.2%)。
- 就業規則の作成：「作成していない」が最も多い(77.8%)。

# 結果（歯科技工所からの回答）

## 労働環境改善への取組内容

作業環境の不具合がないようにする	71.3%
作業環境に関する新しい情報を入手する	29.8%
従業員の意見を積極的に取り入れる	19.1%
生涯学習を支援する	15.6%
その他	8.9%
未回答	19.8%

## 歯科技工業務の効率化への取組内容

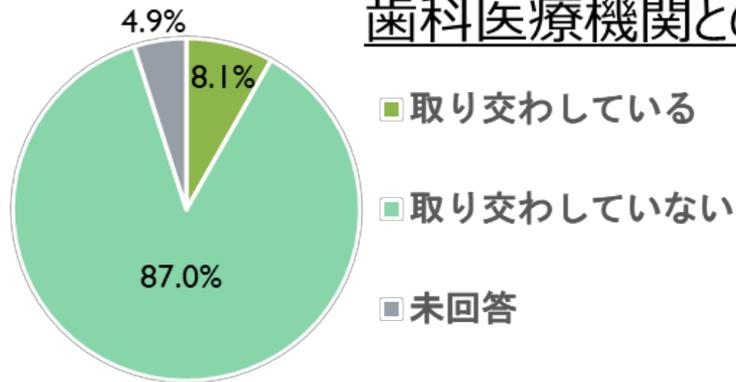
特定の補てつ物等のみの受注を行っている	39.4%
補てつ物等の種類に応じて担当制としている	26.3%
新しい機器を導入している	24.9%
歯科技工業務を行う者とそれ以外の業務（営業や梱包等）の者を分けている	20.7%
ひとつの補てつ物等を作業工程ごとに分担している	13.8%
その他	8.9%
未回答	19.8%

- 労働環境改善への取り組み内容：「作業環境の不具合がないようにする」が最も多い(71.3%)。
- 歯科技工業務の効率化への取組内容：「特定の補てつ物等のみの受注を行っている」が最も多い(39.4%)。

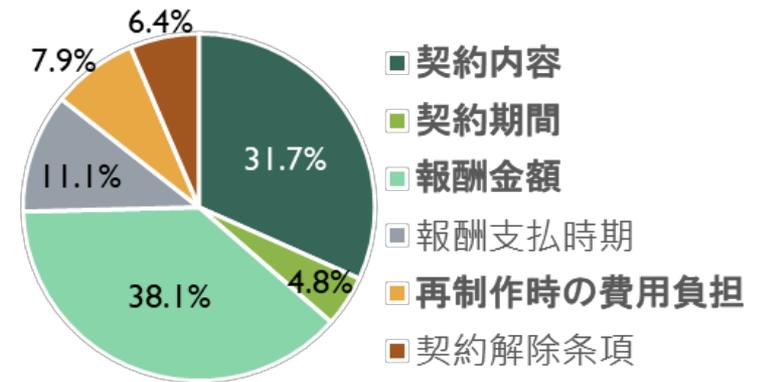
# 結果（歯科技工所からの回答）

## 補てつ物等の製作受託に関する

### 歯科医療機関との契約書



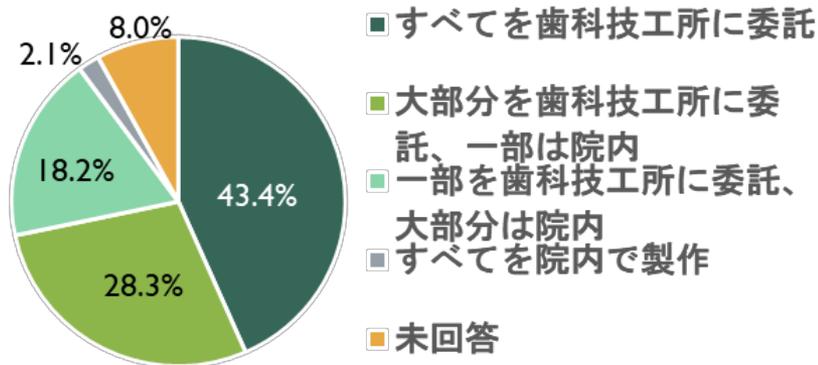
## 契約項目



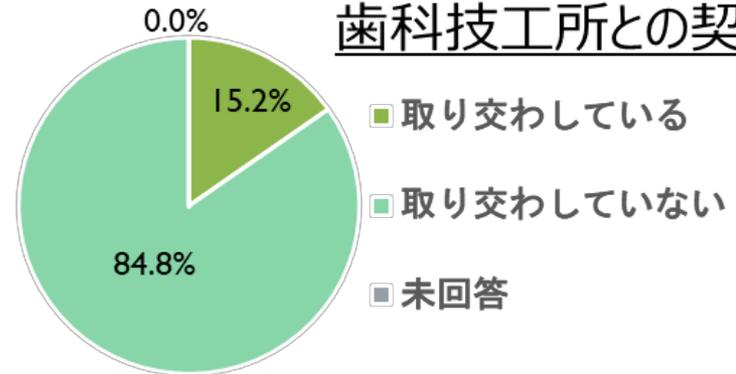
- 補てつ物等の製作受託に関する歯科医療機関との契約書：「取り交わしていない」が87.0%
- 契約項目：「報酬金額」が最も多い(38.1%)。次いで「契約内容」(31.7%)

# 結果（歯科医療機関からの回答）

## 補てつ物等の製作場所



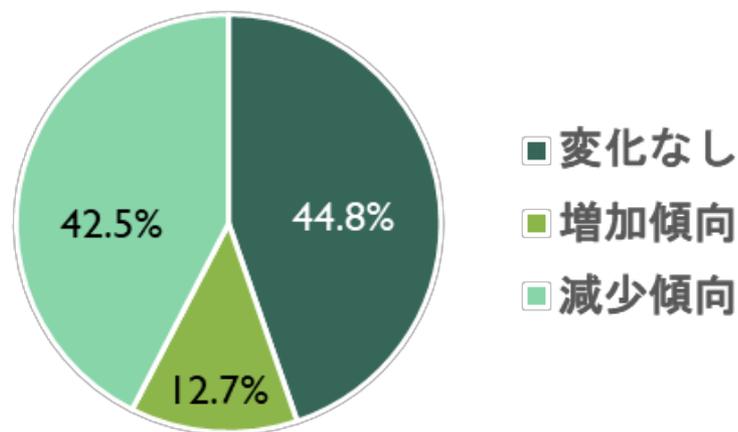
## 補てつ物等の製作委託に関する 歯科技工所との契約書



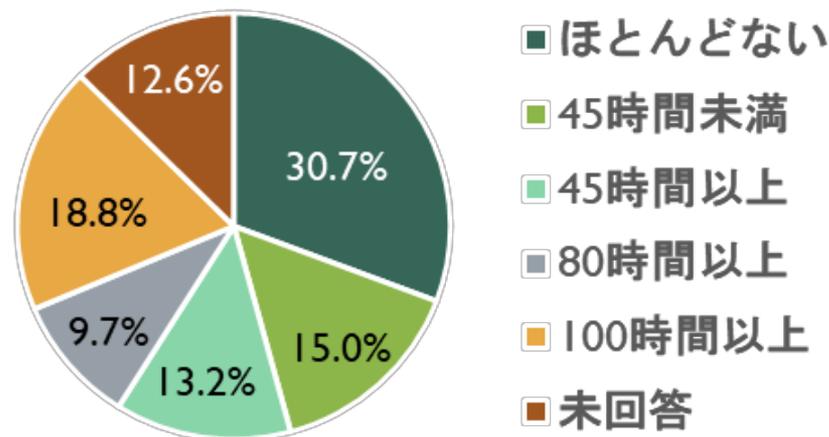
- 補てつ物等の製作場所：「すべてを歯科技工所に委託」が最も多い（43.4%）。
- 補てつ物等の製作委託に関する歯科技工所との契約書：「取り交わしていない」が84.8%

# 結果（歯科技工士（歯科技工所勤務）からの回答）

## 直近3年間の就労時間の変化



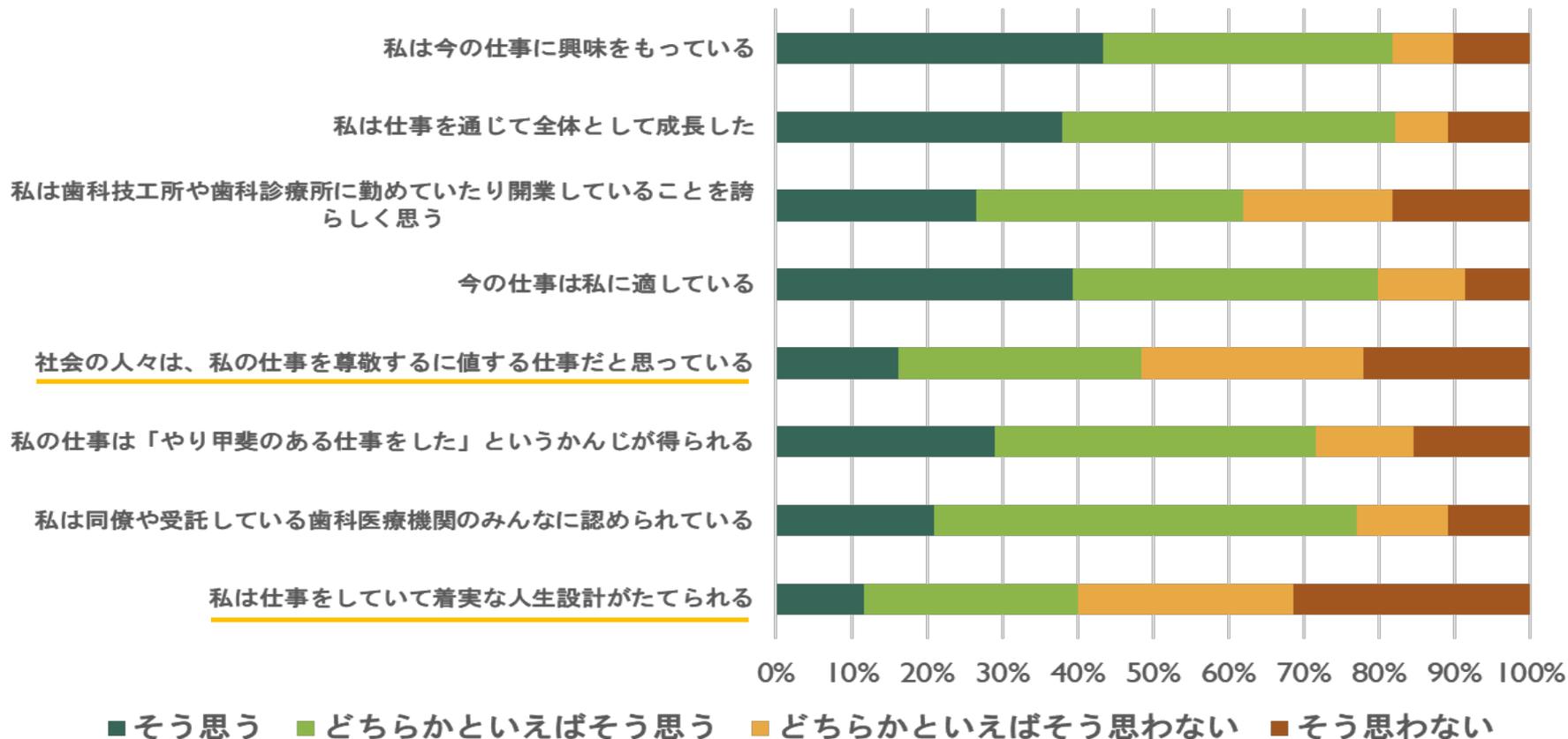
## 1カ月の残業時間



- 就労時間の変化：「変化なし」が最も多い(44.8%)。次いで「減少傾向」(42.5%)
- 1カ月の残業時間：「ほとんどない」が最も多い(30.7%)。「100時間以上」が18.8%

# 結果（歯科技工士（歯科技工所勤務）からの回答）

## 職務内容についてもっている意識



- 「社会の人々は、私の仕事を尊敬するに値する仕事だと思っている」と「私は仕事をしていて着実な人生設計がたてられる」において、否定的意見が50%を超えている。

# 小括

- 労働環境改善への取り組み内容：「作業環境の不具合がないようにする」が最も多い(71.3%)。次いで「作業環境に関する新しい情報を入手する」(29.8%)
- 歯科技工業務の効率化への取り組み内容：「特定の補てつ物等のみの受注を行っている」が最も多い(39.4%)。次いで「補てつ物等の種類に応じて担当制としている」(26.3%)
- 直近3年間の補てつ物等の製作個数の変化：クラウンブリッジは減少傾向、CAD/ CAM冠は増加傾向。
- 補てつ物等の製作場所（歯科医療機関調査）：「すべてを歯科技工所に委託」が最も多い(43.4%)。次いで「大部分を歯科技工所に委託、一部は院内」(28.3%)
- 1日平均就労時間（歯科技工士（歯科技工所勤務）調査）：中央値で10時間、そのうち残業時間は2時間。直近3年間の就労時間は、やや減少傾向。
- 1カ月の残業時間（歯科技工士（歯科技工所勤務）調査）：「ほとんどない」が最も多い(30.7%)。「100時間以上」が18.8%存在。

# 小括

- 雇用契約の締結：「家族以外の従業員がいないため不要」が最も多い(60.2%)。
- 就業規則の作成：「作成していない」が最も多い(77.8%)。
- 補てつ物等の製作受託に関する歯科医療機関との契約書：「取り交わしていない」が87.0%。
- 契約項目：「報酬金額」が最も多い(38.1%)。次いで「契約内容」(31.7%)
- 職務内容についてもっている意識（歯科技工士（歯科技工所勤務）調査）：  
「社会の人々は、私の仕事を尊敬するに値する仕事だと思っている」と  
「私は仕事をしていて着実な人生設計がたてられる」において、否定的意見が50%を超えている。

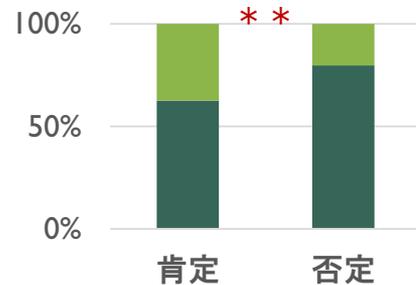
# 歯科技工士(歯科技工所勤務)と歯科技工士(歯科医療機関勤務)との比較

- 性別：歯科技工士(歯科医療機関勤務)は、女性が多い。
- 年齢：歯科技工士(歯科医療機関勤務)は、若い世代が多い。
- 就業年数：歯科技工士(歯科医療機関勤務)は、就業年数の短い者が多い。
- 年収の変化：歯科技工士(歯科技工所勤務)は、年収が減少した者が多い。
- 就労時間：歯科技工士(歯科医療機関勤務)は、就労時間が短い。
- 就労時間の変化：歯科技工士(歯科医療機関勤務)は、変化なしが多い。  
歯科技工士(歯科技工所勤務)は、増加と減少に二極化。
- 残業時間：歯科技工士(歯科医療機関勤務)は、残業時間が短い。
- 職務内容に対する意識：歯科技工士(歯科医療機関勤務)では、肯定的意見が多い。

# 歯科技工士(歯科技工所勤務)と歯科技工士(歯科医療機関勤務)との比較 (職務内容に対する意識)

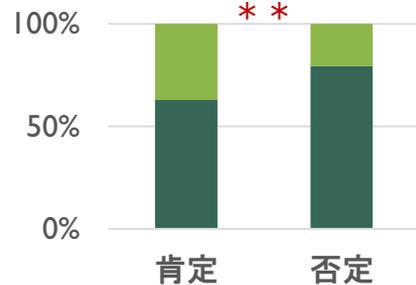
\*\* : P<0.01  
\* : p<0.05

私は今の仕事に興味をもっている



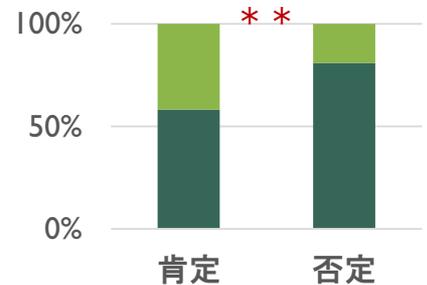
■ 技工所 ■ 歯科医院

私は仕事を通じて全体として成長した



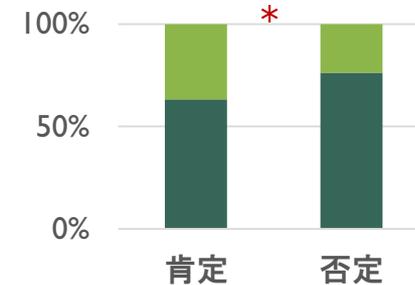
■ 技工所 ■ 歯科医院

私は歯科技工所や歯科診療所に勤めたり開業していることを誇らしく思う



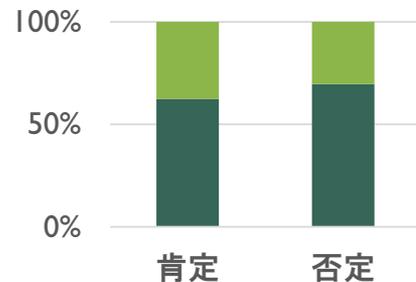
■ 技工所 ■ 歯科医院

今の仕事は私に適している



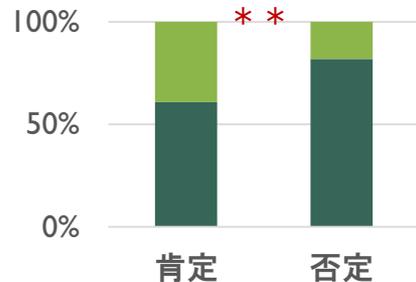
■ 技工所 ■ 歯科医院

社会の人々は、私の仕事を尊敬に値する仕事だと思っている



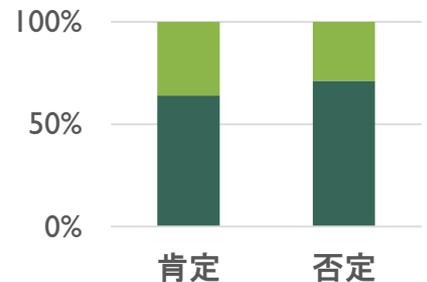
■ 技工所 ■ 歯科医院

私の仕事は「やり甲斐のある仕事をした」という感じが得られる



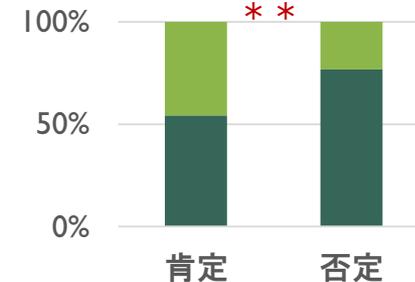
■ 技工所 ■ 歯科医院

私は同僚や受託している歯科医療機関のみんなに認められている



■ 技工所 ■ 歯科医院

私は仕事をしていて着実な人生設計がたてられる



■ 技工所 ■ 歯科医院

➡ 歯科技工士(歯科医療機関勤務)は、歯科技工士(歯科技工所勤務)に比べ職業に対する意識が高い。

# 就労時間（10時間以上の長時間労働）をもとにした クロス集計結果

- 性別：10時間以上の長時間労働は、男性が多い。
- 年代：10時間以上の長時間労働は、40代と50代に多い。
- 就業年数：10時間以上の長時間労働は、就業年数10~30年が多い。
- 年収：10時間以上の長時間労働は、年収400~799万円が多い。
- 就労時間：歯科技工士(歯科医療機関勤務)は、就労時間が短い。
- 就労時間の変化：就労時間が増加傾向にあると、長時間労働が多い。
- 残業時間：残業時間が多いと、長時間労働が多い。
- 職務内容に対する意識：長時間労働は、「社会の人々は、私の仕事を尊敬するに値する仕事だと思っている」「私の仕事は“やり甲斐のある仕事をした”という感じがある」「私は同僚や受託している歯科医療機関のみんなに認められている」「私は仕事をしていて着実な人生設計がたてられる」において、否定的意見が多い。

# 新規採用の有無をもとにしたクロス集計結果

- 売上：売上高が5,000万円以上で増加傾向にある歯科技工所で、新規採用が多い。
- 営業時間：平均営業時間がある程度長い歯科技工所で、新規採用が多い。
- 就労時間：管理者の就労時間がある程度長いところで、新規採用が多い。
- 雇用契約：雇用契約を結んでいる歯科技工所で、新規採用が多い。
- 労働環境：労働環境の改善に取り組んでいるところで、新規採用が多い。  
(従業員の意見を積極的に取り入れる、生涯学習を支援する)
- 効率化：歯科技工業務の効率化に取り組んでいるところで、新規採用が多い。  
(①作業工程の分担、②技工作業とそれ以外の作業を分けている、③新しい機器を導入している)
- 受託歯科医院数：受託歯科医院数が多い歯科技工所で、新規採用が多い。
- 受託契約：歯科医院と受託契約を結んでいるところで、新規採用が多い。

# まとめ

- 歯科技工士の就労時間は、やや減少傾向であった。一方、1カ月の残業時間が「100時間以上」と回答した者が18.8%いたことから、歯科技工所によって労働環境に差があることが窺えた。長時間労働を行っている現状を改善する必要がある。
- 歯科技工士の養成・確保・定着をはかるためには、働きやすい環境を整備すべく、雇用契約や就業規則を作成・整備し、それらに基づいて就労すべきである。
- 労働環境改善のため「作業環境の不具合がないようにする」「作業環境に関する新しい情報を入手する」等に取り組んでいることがわかった。
- 歯科技工業務の効率化のため「特定の補てつ物等のみの受注を行っている」「補てつ物等の種類に応じて担当制としている」「新しい機器を導入している」等に取り組んでいることがわかった。
- 歯科技工所と歯科医療機関との間でのトラブルとして「料金」や「補てつ物等に関する考え方の相違」が挙げられた。歯科医師と歯科技工士との間での書面による歯科技工に関する適切な業務委託契約を締結することが望まれる。